

平成28年 6 月 23 日

幕別町議会議長 芳滝 仁 様

総務文教常任委員会委員長 寺林 俊幸

総務文教常任委員会報告書

平成28年 6 月 8 日本委員会に付託された事件を審査した結果、下記のとおり決定したので、会議規則第94条第 1 項の規定により報告します。
記

1 委員会開催日

平成28年 6 月 8 日（1 日間）

2 審査事件

陳情第 2 号「道教委『新たな高校教育に関する指針』の見直しとすべての子どもにゆたかな学びを保障する高校教育を求める意見書」の提出を求める陳情書

3 陳情の趣旨

道教委は、「新たな高校教育に関する指針(2006年)」に基づき、毎年度「公立高等学校配置計画」を決定し、「望ましい学級規模」を「40 人学級で 4～8 学級」として、高等学校の募集停止や再編・統合を行ってきました。

対象とされた高校では、入学希望者が激減する現象が生じています。さらに、子どもの進学を機に地元を離れる保護者も現れ、過疎化を加速させ、経済や産業、文化などに影響を及ぼすなど、結果的に地域の活力を削ぐこととなっています。地元の高校を奪われた子どもたちは、遠距離通学や下宿生活等を余儀なくされ、精神的・身体的な負担は増大し、保護者の経済力によっては、通学断念にまで追い込まれかねないといった実態も報告されており、これは「地方の切り捨て」、ひいては北海道地域全体の衰退につながります。

したがって、広大な北海道の実情にそぐわない「新たな高校教育に関する指針」を抜本的に見直し、「公立高校配置計画」については、子ども・保護者・地元住民など、道民の切実な意見に真摯に耳を傾けるべきです。また、教育の機会均等と子どもの学習権を保障するため、「遠距離通学費等補助制度」の 5 年間の年限を撤廃するとともに、障がいのある・なしに関わらず、希望するすべての子どもが地元の高校へ通うことのできる後期中等教育を保障するための検討を行うことが必要です。

以上の趣旨から、意見書の提出を求めるものです。

4 審査の経過

審査にあたっては、陳情の趣旨等について論議がなされ、全会一致で結論をみた。

5 審査の結果

「採択」すべきものと決した。